



# 桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2006-2007年度 国際ロータリーのテーマ



## LEAD THE WAY

R.I 会長 ウィリアム B. ボイド

善意というものがいいなら  
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。  
職業は金儲けのためでしかなく、  
社会奉仕というも施しにすぎず、  
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原 勝樹

会長 金子 篤郎 幹事 堀 明

クラブ会報・広報委員会 村田 勝俊・岸 省吾・蓮 直孝・吉田 和夫

### 12月25日号

第2593回・第2594回合同掲載

- 1. 点鐘
- 2. ロータリーソング齊唱
- 3. 来訪者紹介
- 4. 新会員入会式
  - 貴船神社 宮司
  - (1)推薦の言葉
  - (2)バッヂの贈呈
  - (3)歓迎の言葉

奥澤 公慶君  
前原 勝君  
金子 篤郎君

- (4)新会員挨拶
- 5. 出席100%表彰
- 6. 会長の時間
- 7. 幹事報告
- 8. 委員会報告
- 9. 卓話 「新会員卓話」 園田 誠君  
澤田 匡宏君
- 10. 点鐘

### 新会員入会式



**奥澤 公慶君**  
貴船神社 宮司  
生年月日：昭和16年5月9日  
(65才)  
学歴：昭和39年國學院大學政経学部経済学科卒業／昭和40年國學院大學神道学専攻科卒業

**歴史：**昭和40年貴船神社禰宜就任～昭和54年貴船神社宮司就任～平成18年群馬縣護國神社宮司就任～現在に至る

**家族構成：**妻・長男・二男・長女

**趣味：**ゴルフ・野球

### 歓迎の言葉

奥澤公慶君、桐生ロータリークラブへ入会誠におめでとうございます。桐生ロータリークラブ全員心より歓迎いたします。

ロータリーに関する知識はロータリー情報委員会の方からお聞きおよびと思います。ロータリーでは社会生活に於ける成功と幸福は他人に対する思いやりと他人を助けることにあります。そして各自の職業を通じての「奉仕の理想」を目的としております。

ロータリーの奉仕には、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕とありますが基本はクラブ奉仕であります。それはクラブ運営相互親睦を図ることで、これを怠ってはならないと思います。その為には親睦を図ることと、クラブ例会には必ず出席する事です。そして早く桐生ロータリークラブの会員皆さんと親しくて頂き雰囲気に慣れ、大変僭越ですが立派なロータリアンになって下さる事をご期待申し上げ、歓迎の言葉と致します。

### 出席100%表彰

阿部 高久君	25回
養田 隆君	20回
坪井 良廣君	17回
竹内 靖博君	通算11回
前原 勝良君	6回



### 会長の時間

○ 本日、奥澤公慶君が入会されました。前原勝君の推薦です。今年度、増強委員長前原勝良君もあらゆる方面にアンテナをのばしご苦心をなさっており、来年早々にはもう1名入会の予定です。67名でスタートして68名及び69名となります。地区の会員

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 每月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.kiryu.co.jp/kiryurc/>

メール [kiryu-rc@ktv.ne.jp](mailto:kiryu-rc@ktv.ne.jp)

## 第2594回例会

(12月18日(月) 第3例会)

- 1. 点鐘
- 2. ロータリーソング齊唱「奉仕の理想」
- 3. 来賓紹介
- 4. 会長の時間
- 5. 幹事報告
- 6. 委員会報告
- 7. 点鐘

### \* \* \* 来賓紹介 \* \* \*

〈桐生RC名譽会員〉	桐生市長 大澤 善隆様	〈桐生第一高等学校IAC〉	高草木 美祈さん
〈従)桐生青年会議所〉	理事長 蝶間 昌久様	高草木 友紀さん	高橋 莉紗さん
次年度理事長予定者	川田 力也様	生方 駿君	小林 将貴君
〈桐生R A C〉	会長 児玉 健一君	黒岩恵里奈さん	駒井由紀奈さん
〈桐生第一高等学校IAC〉	顧問 西尾 仁美先生	〈米山奨学生〉	サントス アリオ ウィボヲ君
	部長 古田 恭平君		
	副部長 松島 愛美さん		
	小泉 真里さん		



2006年12月18日(月) 点鐘：午後6時30分 場所：桐生プリオパレス

司会：親睦活動委員 大友 一之君

- 1. 開会 会長エレクト 佐々木 裕君
- 2. 親睦活動委員長挨拶 坂入 勝君
- 3. 会長挨拶 金子 篤郎君
- 4. 来賓挨拶 桐生市長 大澤 善隆様
- 5. 乾杯 桐生青年会議所理事長 蝶間 昌久様
- 6. 諸事お知らせ 親睦活動委員 大友 一之君
- 7. 会食歓談
- 8. 新会員余興
- 9. 新会員による歳末助け合い募金
- 10. 手話ソング 桐生第一高等学校IAC様  
ハンドベル
- 11. ビンゴゲーム
- 12. サンタクロースのプレゼント
- 13. 歳末助け合い募金集計報告
- 14. ロータリーソング『手に手つないで』
- 15. 閉会の言葉 副会長 藤江 聰吉君



会計士数を増やすという財務省の方針にしたがって増加傾向にあります。

全国に470万社の会社があると言われていますが、このうち公認会計士の監査が行われるのは、法定監査(上場企業)、商法監査、学校法人監査、自治体等の包括外部監査、社会福祉法人等の任意監査などの領域です。監査法人はトーマツ、新日本、あずさ等の大規模監査法人にそれぞれ2,000人ずつ公認会計士が所属して業務を行っています。監査の目的は、投資家等の利害関係者にとって財務諸表が適切になっているかどうかを監査することにあり、実際の監査から審理を経て、最終的には監査報告書にまとめられます。

監査のためには、監査先の会社に5人から10人といったグループで出向き、1週間から2週間の比較的長い期間張り付くことになります。四半期ごとに監査先にいくことになるので頻繁に相手先担当者と接触することになります。たな卸しの時期にはどつと行って実地を見て回ります。

公認会計士としての資質の維持・向上のため、年間40単位(40時間)以上の研修受講を義務づけられており、未了の場合は資格剥奪という厳しいものです。85歳になった私の父も毎年がんばって受講に臨んでいます。



### 新会員卓話 「中小企業から見た 現在の中国」

澤田 匡宏君

現在日本において、あらゆる産業が中国から何かしらの影響を受けています。我が社の属する繊維産業においても同様であり、我が社の中国進出のいきさつを交えながら、中小企業である我が社から見た、現在の中国について感じたことをお話をしたいと思います。

中国の改革開放、特に1989年(平成元年)の天安門事件後の1992年(平成4年)、鄧小平の華中、華南地域の視察(南巡講和)を境にした改革開放の加速は、日本国内における縫製人口の減少と相まって、日本のアパレル産業の生産構造を大きく変える引き金となっていました。その結果、1993年(平成5年)頃より日本の縫製業者の中国への進出が活発化し、生地や付属(ボタン、ファスナー)の中国への輸出が本格化してきました。

そうした環境の中、我が社も1995年(平成7年)、  
①中国進出縫製企業へのデリバリーフォロー  
②保税倉庫を活用した中国生産基地の販売(日本決済)  
③中国国内の生地メーカーの開拓  
④中国での情報収集などを目的に、上海に駐在員事務所を開設しました。

その後2000年(平成12年)頃には、アパレル、商社より、中国縫製企業に人民元による生地の販売を求められようになり、2001年(平成13年)人民元決済を行う目的で「中華人民共和国外資系企業法」に

基づいた中国現地法人、丸幸国際貿易(上海)有限公司を設立し、現在に至っています。

私も初めて中国に訪問してから、20年近く経ちますが、その発展の早さには目を見張ります。1990年代前半は多くの人が人民服を着、女性もあまり化粧をしておらず、あか抜けない感じでした。夜になると、街灯も少なく、街全体がとても暗い状況でした。上海市内には高速道路もなく、車はほこりだらけ、自転車の大群が道路幅いっぱいに走っていました。高層ビルも数えるほどしかなく、日本人の泊まれるホテルも限られていましたし、駐在員の住める地域も限られていました。上海の空港も古く、小さなものでした。何しろ、日本とは比較できないほど、遅っていました。

それが、1990年代後半には、高速道路、高層ビルは次々に出来、畠だった浦東地区は高層ビル街に変貌、女性も日本人と変わらない容貌になりました。日本の30年から40年前の時代が、僅か10年で現在の日本と同じ生活水準になってしまったことになります。その成長のスピードの速さは現代中国に様々な格差をうみ、大きな社会問題となっています。資本主義の日本が、社会主义の中国より平等な社会であり、社会主义の中国人が金儲けに邁進しています。日本より関税が高い、輸入車(ベンツ、BMW)が多く見受けられ、日本人が行く高級日本食レストランで100元のランチを多くの中国人ビジネスマンが食べています。一般の中国人のランチは5~6元で食べられます。

現在中国13億人の人口のうち、その1割にあたる1億3000万人の人が、日本人と同レベルの生活水準にあると言われています。すなわち、日本と同じ市場が中国にあると言うことです。世界の工場として、安価な労働力で急成長して来た中国が、世界の大きな市場に変貌しているのです。日本の自動車メーカーなど大企業は、少子高齢化が進む日本の縮小していく市場から、今後ますます発展する中国市场へシフトしていくますが、中小企業が中国国内で「もの」を販売していくことはとても難しいことです。むしろ日本の中小企業は、中国企業の日本への「もの」の売り込みに、対抗しなければならなくなるかもしれません。中国に進出することも出来ず、中国からの攻勢に対抗するために、我々中小企業はより付加価値のある、「もの」やサービスを提供し続けなければなりません。将来、中国も含めた東アジア全体がユーロ圏のような一つの経済圏になるのではないかとも言われていますが、我々中小企業もそうしたグローバル化の流れに沿った経営を心掛けていく時代を、中国の改革開放が、幕開けの役割りを、果たしてしまったように思えてなりません。

- 増強の純増1名以上という事でお蔭様で目的は達成出来ましたが、会員の皆さんには今後も適任の方を推薦していただきますようお願い申し上げます。
- RID2840地区ローターアクト第7回地区年次大会が平成19年1月13日(土)藤岡市みかほみらい館に於いて開催されます。RACメンバー2名、IACメンバー5名(顧問1名含む)、桐生RCからは来年実施されますライラ研修のPRに、ライラ研修実施の為の実行委員長になりました館盛治君他2名参加で出席してまいります。
  - 第7回ライラ研修準備委員会(組織案)が12月4日(用)理事会に於いて承認され、実行委員長に館盛治君が就任され来年早々に第1回の準備会を予定致します。会員皆様には今後ご協力の程よろしくお願い申し上げます。
  - 12月4日(用)午後7時より桐生俱楽部1号室に於いて第2回桐生RC総合企画特別委員会が開催されました。10名の委員が出席し、第1回委員会での議題のとりまとめが行われ ①桐生RCの現状の問題点の抽出について ②ローターアクトクラブに対しての協議が行われました。又、クラブリーダーシッププラン(CLIP)については、内容が漠然としていて話し合う目標がつかみづらく、これぞと言った方向に導き出すことが難しい。故にほかの協議を進めていくうちに方向性が見えてくるのではないか。今後この件については、特別扱わないうが会議の流れの中で触れていくことにする。

#### まとめ

総合企画特別委員会は  
実行計画案作り一各委員会と協議をして組織を作る。  
(チャレンジ・実験をする)  
目標の提言一各委員会示す。  
実行計画案一次年度に引き継いで貰い(実験)を繰り返す。  
会員が目的意識をもつて3年計画くらいの(チャレンジ・行動)目標を立てる。  
3年計画ー1年目 地域社会貢献に対する計画  
2年目 チャレンジ・実験・行動をしてみる計画の立案  
3年目 繼続的計画に移行していく為の計画の立案

以上の計画は、理事会の承認を受け実行していく。早急に1つのテーマを作り、委員会に投げかけ【本年度、次年度、次々年度】にまたがる計画を立ち上げる。四大奉仕の1つを選択して決める。

- 津久井ガバナー事務所より「拉致被害者支援のお願い」が届きました。去る11月24日グーン研究会のガバナー会の席上、RI第2560地区の中條ガバナーより提案され、全員賛成にて決議され、各クラブご賛同の場合には会員1人100円の募金をお願いしたいということですので、当クラブでも理事会メンバーにて協議しましたところ、支援することと決定致しました。尚、本部費より会員68名分6,800円を送金させて頂きます。
- 桐生西RCパスト幹事の下井田会員のところへ、矢野ガバナー年度GSE以来親交のあるRID3820フィリピンの今年度ガバナーより災害援助の依頼状が届きました。この地区は台風ドリアンの被害に

見舞われたそうです。理事会メンバーにて協議した結果、募金箱浄財というかたちで桐生5RCとりまとめて寄付することと決定致しました。本日の例会中に募金箱を廻しますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

## 幹事報告

- 津久井ガバナー事務所より年末年始休暇のお知らせが届いております。
- 日本UNHCR協会よりニュースレター「with you」が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城、館林、足利東の各RCより週報到着。
- 次週12月18日(用)は家族合同忘年クリスマス会です。桐生プリオパレスにて午後6時30分点鐘ですので、お間違えのないよう宜しくお願い致します。尚、25日(用)は今年最後の通常例会がございますので、お忘れにならないようお願い致します。
- 本日例会終了後、2号室にて第1回次年度理事役員予定者会議が開催されます。次年度理事役員予定者の方は出席の程お願い申し上げます。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席(平成18年12月11日)：総員68名・出席49名  
平成18年11月27日例会修正出席率：84.6%

### ニコニコボックス

前原正一君・前原 勝君・大島武司君…奥澤公慶君の入会を歓迎して／佐々木裕君…いよいよ第一回次年度理事役員予定者会議が今日より始まります。関係各位の皆さんには呉々もよろしくお願い申し上げます。園田 誠君・澤田匡宏君…卓話をさせていただきます／阿部高久君・坪井良廣君・竹内靖博君・前原勝良君…出席100%／藤井征夫君…12月18日の家族合同クリスマス会のご盛会を祈念して／坂入勝君…12月18日の家族合同忘年クリスマス会、親睦一同万全の体制をととのえて皆様のお越しをお待ち申しております。

## 卓話

### 「新会員卓話」

園田 誠君



私の職業である公認会計士制度は昭和23年の証券取引法の一環として成立したもので、その後3年を経て公認会計士による監査業務が開始されました。その後、昭和40年代の大型粉飾事件を契機に監査法人ができ、現在では100の監査法人を数えるまでになっています。全国には16,000人ほど公認会計士があり、会計士補の6,000人をあわせ約22,000人が当該業務に従事しています。私が公認会計士になったころの公認会計士数は10,000人程度でしたが、公認